

## 障がい児支援

松本 義明 議員

**質問** 障がい児支援は転換期にあるが本市における課題は。

**福祉部長** 法改正への対応が不十分で一貫した支援が行えていない。

**質問** 健康福祉センターが行う発達支援事業における課題は。

**健康福祉センター所長** ニーズ把握の機会、情報共有、ネットワーク化、支援の引き継ぎ方を再検証する。

**質問** 自立のための一貫した発達支援のために気軽に相談できる総合相談窓口を設置すべきでは。総合相談窓口では発達支援、家族支援、地域支援をライフステージに応じて切れ目なくコーディネートしていく。

**市長** 健康福祉センターの元気キッズの機能を充実させていき、組織機構の見直し等を捉え検討していく。

**質問** 複数のサービスを連携させるためケース会議を実施すべきでは。

**市長** サービス提供と生活面の支援も含めるには職員体制や個人情報等の課題があり、検討が必要である。

**質問** 放課後等児童デイサービスとショートステイは特にニーズがあるようだが、民間との連携で社会資源を充実させていくべきでは。

**市長** 利用ニーズの把握に努める。次期障害者プランに向けてサービスの見込みと目標が示せるか精査する。

**質問** 近隣市との市独自サービスの相互利用とノウハウの共有は。

**市長** 市独自サービスの相互利用はすぐには難しいが、情報交換や職員交流など各市が持っているノウハウの共有は有効なので実現していく。



健康福祉センター発達支援事業「元気キッズ」の様子